

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	関係者と連携した環境対策立案等検討業務経費		担当部局庁	道路局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H21/H22		担当課室	環境安全課 道路環境調査室		室長 岡 邦彦	
会計区分	一般会計		施策名	2-5 快適な道路環境等を創造する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自動車から排出される窒素酸化物および粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第6及び8条		関係する計画、通知等	自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質の総量の削減に関する基本方針			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国的な沿道環境(大気質)の状況は改善傾向にはあるが、大都市の幹線道路等において未だ環境基準が非達成であり、早期解消に向けた大気質対策を行っていく必要がある。このため、各種対策の効果を適切に把握し、効果的・効率的に対策を実施する必要がある。そこで、道路管理者等が実施してきた大気汚染対策について、対策効果を把握するとともに、今後の環境基準達成に向けた対策の立案等の検討を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大気質については各種対策の実施により一般局においては概ね環境基準を達成しているものの、大都市の幹線道路交差点付近等においては一部で非達成観測局が残されており、早期解消に向けた効果的な対策が必要と考えている。そこで、各地で進められている各種ハード、ソフト対策について、対策効果の検証を行うとともに、対策効果予測手法の検討を行い、今後の環境基準達成に向けた対策の立案等の検討を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	—	0	0	—	
		繰越し等	—	0	0	—	
		計	—	20	19	—	—
	執行額	—	16	19			
	執行率(%)	—	80.0%	99.4%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	沿道環境(大気質)対策について検討		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	各種の大気質対策(ハード・ソフト)の削減効果を大気質予測に組込む手法の検討および効果的な対策の組合せについての検討を実施		活動実績(当初見込み)	—	—	—	(—) (—)
単位当たりコスト	—		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	該当なし						
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・当該予算の執行は国土交通省で実施しており、全ての支出先を把握している。</p> <p>・また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議いただいている。</p> <p>・平成21～22年度にわたり、これまで大気質予測手法が確立されていない都市部交差点等を対象とした予測手法及び対策立案手法の開発を検討した結果、一定の成果を得ることが出来たため、平成22年度で本検討業務は廃止とした。これらの手法の一般化に向けては、引き続き検証事例を増やした上で、更なる検討・とりまとめを進めることが必要である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止 ⑧	<p>昨年度の行政事業レビューで廃止</p>		
	<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）</p>		
<p>廃止</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p></p>			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

国土交通省
19百万円
〔・業務総括〕



A. 国土技術政策総合研究所
19百万円
〔・大気質予測に係る技術的検証
・業務総括・調査監督〕



【簡易公募プロポーサル】
B. 株式会社 公共計画研究所
19百万円
〔・業務請負者
・データの収集・現地調査等〕

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金額
 が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の
 双方で実情が分かるよう
 に記載)

A. 国土技術政策総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	都市内交差点周辺における総合的な沿道大気質対策検討手法に関する整理検討業務	19			
計		19	計		0
B. 株式会社 公共計画研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	データ収集、現地調査、対策予測手法検討	19			
計		19	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土技術政策総合研究所	都市内交差点周辺における総合的な沿道大気質対策検討手法に関する整理検討	19	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 公共計画研究所	データ収集、現地調査、対策予測手法検討	19	1	99.6%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					